

百五銀行のあゆみ

1878年の創立以来、受け継がれてきた「堅実経営」をはじめとした良き伝統を大切にしながら、地域とともに着実に成長し、進化することをめざしています。当行は、2028年11月に創立150周年を迎えます。

1878- 第百五国立銀行の創立 ～揺籃期の危機を救った伊勢商人～

1878(明治11)年
旧津藩士が中心となり、
第百五国立銀行を創立



第百五国立銀行創立証書

1879(明治12)年
津沢ノ上町1番地において営業開始
初代頭取には津藩城代家老であった
藤堂高泰が、支配人には津の魚問屋、
岡嘉平治が就任した。開業当初の資
本金は8万円、総員11名であった。



初代頭取
藤堂 高泰

1882(明治15)年
「伊勢商人」が当行の経営に参画
東京第四十五国立銀行による当行株式の買占めが発生。
当行を併合寸前の危機から救った伊勢商人(川喜田家など)の経営
に関する豊かな経験とノウハウにより、健全経営の基礎が築かれた。
1894(明治27)年には、川喜田四郎兵衛が第5代頭取に就任。

1884(明治17)年
日本銀行国庫金取扱代理店となる
三重県金庫事務を受託

1897年(普通銀行へ改組)
預金:78万円
貸出金:53万円
資本金:24万円
従業員:32名
店舗数:2か店

預金・貸出金残高推移

■ 預金 ■ 貸出金

1897- 普通銀行への転換と躍進 ～堅実経営で度重なる恐慌を乗り越えて～

1897(明治30)年
普通銀行に改組し、株式会社百五銀行として発足

1901(明治34)年
本店を津市大門町1056番地に新築移転



1905(明治38)年
亀山銀行を買収、亀山支店を開設

1916(大正5)年
桑名銀行を買収、桑名支店を開設
これ以降、第一次世界大戦後の反動恐慌に際し、経営基盤の弱い近隣中小
銀行を相次いで合併し、三重県下全域を網羅する地方銀行へと躍進した。

1920(大正9)年
大都市進出の第一歩となる名古屋支店の開設

1924(大正13)年
本店を津市丸之内岩田川畔に新築移転

Hyakugo Episode

百五ビル(1924年新築の本店)

地下大金庫室や県下初のエレベーター
など、最新の設備を備えた鉄筋コンク
リート4階建の高層ビルは、津の名所と
して評判になりました。銀行は1・2階を
使い、他は貸室で3階はデパート、4階は
歯科医、理髪店、東京のレストラン東洋軒など、“ハイカラ”なテナント
が店して、市民の人気を集めました。



1943(昭和18)年
勢南銀行、三重共同貯蓄銀行を合併

1945- 戦後復興と業容の拡大 ～預金増強とオンライン化で経営基盤を充実～

1945(昭和20)年
本店が空襲により被災
1階営業室はかろうじて焼失を免れ、営業を
継続。



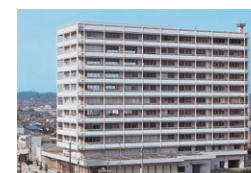
空襲後の本店周辺

1949(昭和24)年
くじ付きの「福寿定期預金」募集開始
預金増強運動(抽せん会、宣伝自動車、巡回映画会など)を積極的に展開し、
1952(昭和27)年に預金残高100億円の大台を突破した。

1964(昭和39)年
東京支店開設

1966(昭和41)年
大阪支店開設

1968(昭和43)年
本店を津市伊予町に新築移転



1968年 新築の本店

1972(昭和47)年
事務センターを新設し、為替・預金・融資業務のオンライン化を順次実施

1973(昭和48)年
東京、名古屋両証券取引所市場第二部に上場
(1974年 両取引所市場第一部に指定替)

1978(昭和53)年
創立100周年

1980(昭和55)年
預金総額1兆円突破



百五銀行のあゆみ

1993- 新たな百五銀行へ

～お客さまの期待を超えるご満足の提供を～

1993 (平成5) 年

VI導入により、ロゴマーク、コーポレートカラーなどを制定

1996 (平成8) 年

「企業理念」制定

「信用を大切に社会をささえます」という＜当行の使命＞を企業理念の冒頭に掲げ、当行の存在意義を明確にした。

1998 (平成10) 年

投資信託の窓口販売開始

1999 (平成11) 年

「環境方針」制定

2003 (平成15) 年

コーポレートステートメント

「FRONTIER BANKING」を制定



上海駐在員事務所開設

2007 (平成19) 年

次世代オープン勘定系システム「BankVision」稼働

世界で初めて銀行の基幹系システムにWindowsを採用した「Bank Vision」の稼働は、「日本で最も進んだ顧客サービスの実践」「最先端のサービスと商品の提供」「お客さまの期待を超えるご満足の提供」をめざす「FRONTIER BANKING」を具現化した取組みとなった。



2012 (平成24) 年

バンコク駐在員事務所開設

2015- さらなる挑戦と進化

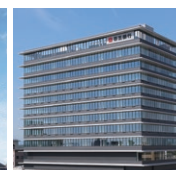
～持続可能な地域社会の実現のために～

2015 (平成27) 年

新本館ビル「岩田本店棟」
「丸之内本部棟」竣工



岩田本店棟



丸之内本部棟

2018 (平成30) 年

「健康経営優良法人
～ホワイト500～」に認定

2019 (令和元) 年

「百五銀行スマホバンキング」アプリの取扱開始

2024 (令和6) 年にスマホバンキング「通帳レス口座」30万口座を達成。また、BIPROGY株式会社との協業により「スマホバンキング」アプリの外販を開始。2026年3月末現在で8金融機関に販売し、外販分を含めたアプリ利用口座数は100万口座を突破。



2021 (令和3) 年

TCFD提言への賛同を表明

2022 (令和4) 年

サステナビリティに関する方針を制定

Park-PFI事業に対する全国初のソーシャルローンの取組み

2024 (令和6) 年

預金総額6兆円、総貸出金5兆円をそれぞれ突破

2025- 創立150周年へ

～「頼りにされる銀行」をめざして～

2025 (令和7) 年

中期経営計画

KAI-KAKU150 FINAL STAGE「未来への挑戦」スタート

中期経営計画

未来への挑戦

中期経営計画 KAI-KAKU 150 FINAL STAGE

中期経営計画でめざす姿

本中期経営計画を通じて「頼りにされる銀行」となることをめざします。そのために、行員は「お客さまに信頼され、頼られる人」になります。

銀行がめざす姿

頼りにされる銀行

行員がめざす姿

お客さまが夢や未来を描くとき、
一番に顔が浮かぶ行員

「百五銀行グループ サステナビリティ宣言」制定

2026 (令和8) 年

人事制度改定および人事ポリシー制定

人的資本を最も重要な経営資本と位置づけ、多様な人材が年齢や性別に関係なく挑戦し、成長できる環境を整えた。

2026年3月
預金:6兆861億円
貸出金:5兆1,656億円
資本金:200億円
従業員:2,228名
店舗数:145か店

